

# 宇都宮市立田原西小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

## ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組                      | 取組の具体的な内容                                                                                                                    | 取組に関わる調査結果                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・自らの思いを表出し、学び合う楽しさを味わう児童の育成 | ・国語の「書くこと」の領域を中心に、授業や日常生活の中に書く機会を意図的に位置づけ、書くことへの抵抗感を減らすと共に、習慣化を図る。                                                           | ・国語の「書くこと」の領域の平均正答が、6年生では4.5ポイント下回っているが、5年生では1.3ポイント、4年生では2.5ポイント上回った。発達段階の早いうちから文章表記に慣れさせることの重要性を確認できた。<br>・記述式問題について、選択式、短答式より正答率が下回っている。また、記述式では無回答が一定数ある。引き続き、問題に粘り強く取り組もうとする態度を育成していく必要がある。 |
| ・家庭学習の推奨                    | ・年度初めに家庭学習メニューを配布し、自主学習ノートの使い方を具体的に指導したり、秀作を掲示したりして自主学習を啓発してきた。また、家庭学習強化週間を年4回実施したり、漢字や計算のまとめテストを全校で実施したりして、家庭への啓発、協力を図っている。 | ・「授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている」の肯定的回答が、学校全体で76.0%と昨年度を4ポイント下回った。「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」の肯定的回答も学校全体で44.6%と5割を下回っている。                                                                       |

## ★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・「書くこと」への抵抗感を軽減することは、次年度も大きな課題である。国語の「書くこと」の領域を中心に、授業や日常生活の中に書く機会を意図的に位置づけて習慣化を図るとともに、授業においては自らの考えが持てるような発問を工夫したり、互いに考えを伝え合う場を設けたりして、自らの考えを表出する経験を積ませ、「書くこと」の力につなげていきたい。

・基礎基本の確実な定着を図るため、朝の学習の時間を活用して繰り返し練習をしていく。また、語彙力が身に付いていないことが課題としてあるので、さらに読書を推奨したり、語彙の獲得を目指した取り組みを重点的に行ったりしていく。

・「授業で習ったことを、その日にうちに復習している」の肯定的回答が5割を下回った。学校において、学びを構築するノート作りができるような板書を工夫し、ノート作りの具体的な指導を行っていく。また、家庭学習の習慣化を図れるように家庭への啓発をさらにを行い、学力の確実な定着を目指していく。